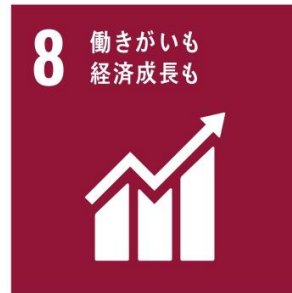


TOSHICHI

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東七が取り組むSDGs目標

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。17の目標から構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。東七株式会社は、この考え方に共感し、17の目標の内、5の目標に注目し取り組みを行っていきます。

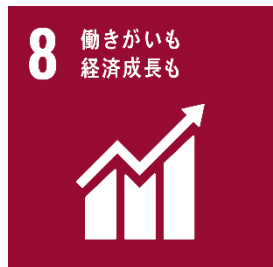


○医薬品・医療機器・介護用品の安定供給

「事業継続計画（BCP）適正管理業務手順書（GDP）」の整備

○健康経営の推進と継続

社員の健康増進に向け、食生活やストレス軽減等のさらなる取り組み



○働き方改革の推進

柔軟な働き方の推進、勤怠管理システム導入による長時間労働の是正及び「ノー残業デー」の導入

○生産性向上プロジェクト

業務改善・経費削減・若手社員の人財育成を目的としてプロジェクトの発足・運用

東七が取り組むSDGs目標

11 住み続けられる
まちづくりを



○BCP（事業継続計画）の整備

有事における事業継続させるための設備投資
「自家発電設備」「災害時緊急車両」等の体制を維持・向上

○廃棄物の削減

環境負荷軽減のため、商品の期限切れ不良品の発生抑制

13 気候変動に
具体的な対策を



○CO2（二酸化炭素）排出量削減

当社の事業に使用する車両及び設備機器が発生させるCO2（二酸化炭素）の排出量削減
運転時のエコドライブ（急発進・急停車）運動やドライブレコーダー機能向上などの対策を行う

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



○離島への「ドローン配送」の実現

離島医療における医療ニーズや医薬品へのアクセスを持続可能なものとするため
ドローンを用いた医薬品配送の実現を目指し、関係会社とパートナーシップを組む

3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



○介護ICTツール「iTherapy」の普及

介護現場における労働生産性の向上および良質な介護サービスの提供の実現を目指し
リエゾングループが開発した「iTherapy」を長崎県内の福祉施設へ普及させる